



## 60100-XKPC-K2S0 CIVIC AERO BONNET

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

#### ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。  
[適合車種] CIVIC TYPE-R ABA-FD2  
[色記号] 本製品は未塗装品です。車両色（ホンダ色記号）は、サービスインフォメーションプレートで確認して下さい。
3. 商品の塗装後の返品は受付られませんので塗装前に無理無く装着出来る事を必ずご確認ください。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
5. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

#### お客様へ

1. エアロ ボンネットが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。  
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト・ナット類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

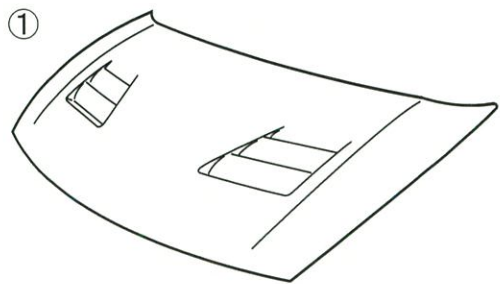
## 【構成部品表】

| No. | PARTS  | NAME. | QTY. |
|-----|--------|-------|------|
| ①   | エアロ    | ボンネット | 1    |
| ②   | シムプレート |       | 2    |

②



①



## 【必要工具】

・ボックスレンチ 10 mm ・トルクレンチ 10 mm ・クリップ リムーバ

## FRPゲルコート仕上げ製品の特性及び塗装作業の注意事項

### ●FRPゲルコート仕上げ製品の特性

FRP製ゲルコート仕上げの商品は複雑な形状を製造するのに適したハンドメイドで製造した商品です。そのためPPE、ABS樹脂製塗装済み商品とは取扱いが異なります。  
ハンドメイド製造品のため、車両、商品の個体差により、塗装前にフィッティング確認、取付穴などの修正及び、製品表面の面出しや製法上発生するキズなどの修正等の下地処理が必要となります。予めご了承下さい。

### ○塗装作業の注意事項

下記の点にご注意ください。

1. 塗装作業前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けができることを確認して下さい。  
取付穴および車体部品とのフィッティングの調整を行って下さい。  
車両個体・製品個体差等で修正が必要になる場合があります。
2. 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修、修正跡、ゲルコート表面の細かい凸凹があります。本塗装前に必ず下地処理を行って下さい。
3. ゲルコート仕上げ状態のままのご使用は出来ません。  
製品を良く確認の上、必ず全面にサーフェーサー（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、パテ（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、耐水ペーパーによる面出し作業、足付け作業などの下地処理を行った上で、本塗装を行って下さい。特に、割型面部はピンホールが発生し易いので、必要に応じてパテ修正・面出し等の下地処理を行って下さい。

\*なお、FRPゲルコート製品はその製法上、ABS、PPE樹脂製塗装済み商品と同等の面品質が出ない場合があります。予めご了承下さい。

4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼き付け仕上げ温度の上限は50℃です。  
FRP製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

## I. 塗装作業

- ①エアロ ボンネットの表面及び裏面（推奨）を塗装する。

## Ⅱ. 取付準備

- 《注意》・純正ボンネット、及び、車体にキズ等が付かない様に、注意して、作業を行う事。  
・作業は、他の人に、保持してもらいながら行う事。  
・作業は左右同様に行うこと。

①クリップ リムーバを使用してクリップ(A)を外し、ボンネット コーナ シール(C)を取外す

②M6 ボルト (B) を外し、純正ボンネットを取り外す。(サービスマニュアル参照)

※作業①及び②で取り外したクリップ、M6 ボルト、ボンネットコーナーシールは  
エアロ ボンネット取り付けの際に再利用するため、紛失や破損に注意すること。

A(4)

B(4)

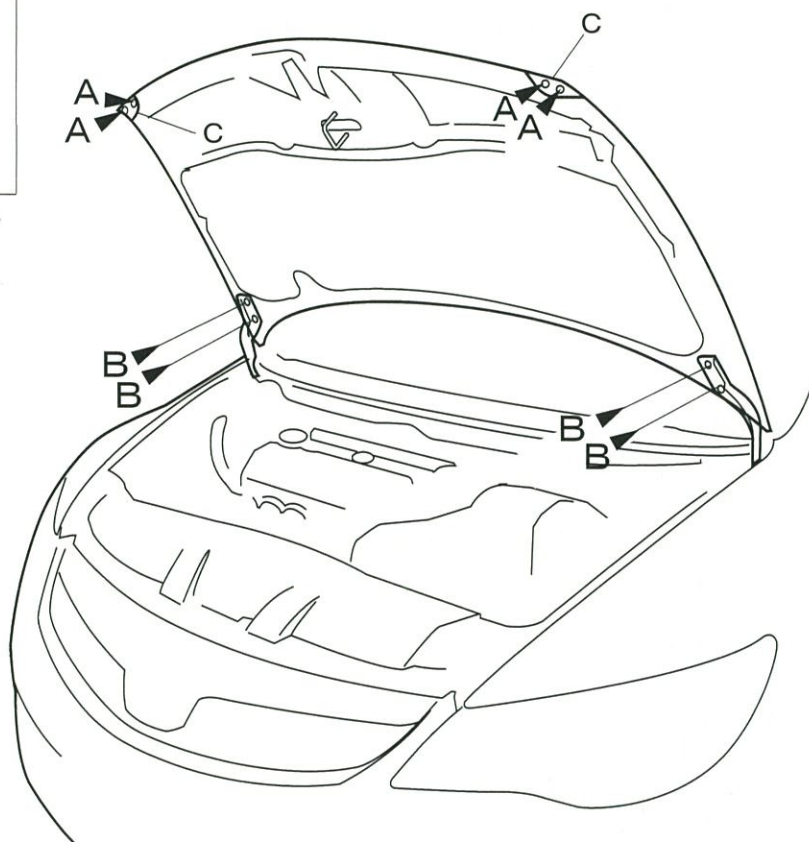
C(2)



クリップ  
(再利用)

M6 ボルト  
(再利用)

コーナーシール  
(再利用)





### Ⅲ. エアロ ボンネットの取付

《注意》・エアロ ボンネットおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。

①M6 ボルト (B) を使い、エアロ ボンネットを取り付ける。

(サービスマニュアル参照)

※必要に応じボンネット高さ調整用のシムプレート (D) を取り付ける。

②クリップ(A)を使い、ボンネット コーナ シール(C)を取付ける。

※クリップの損傷、白化を点検し、必要ならば交換すること。

A(4)



クリップ  
(再利用)

B(4)



M6 ボルト  
(再利用)

C(2)

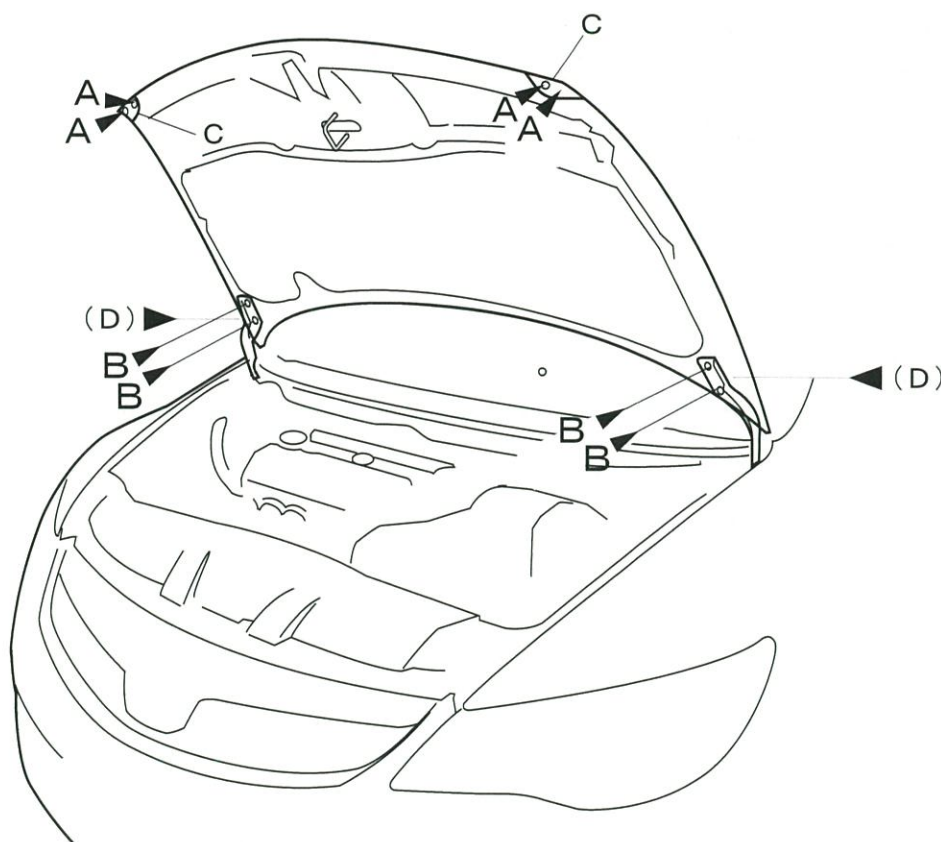


コーナーシール  
(再利用)

D(2)



シムプレート



#### <シムプレートの装着方法・注意事項>

- ・シムプレートはボンネットの高さ調整用です。  
フェンダーとボンネットの高さ調整の必要の場合のみ使用すること。
- ・シムプレートを装着する場合はボンネットとヒンジの間に挟み込み使用すること。  
左右セットで使用すること。

#### IV. エアロ ボンネットの建付け調整を行う。

《注意》・エアロ ボンネットおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

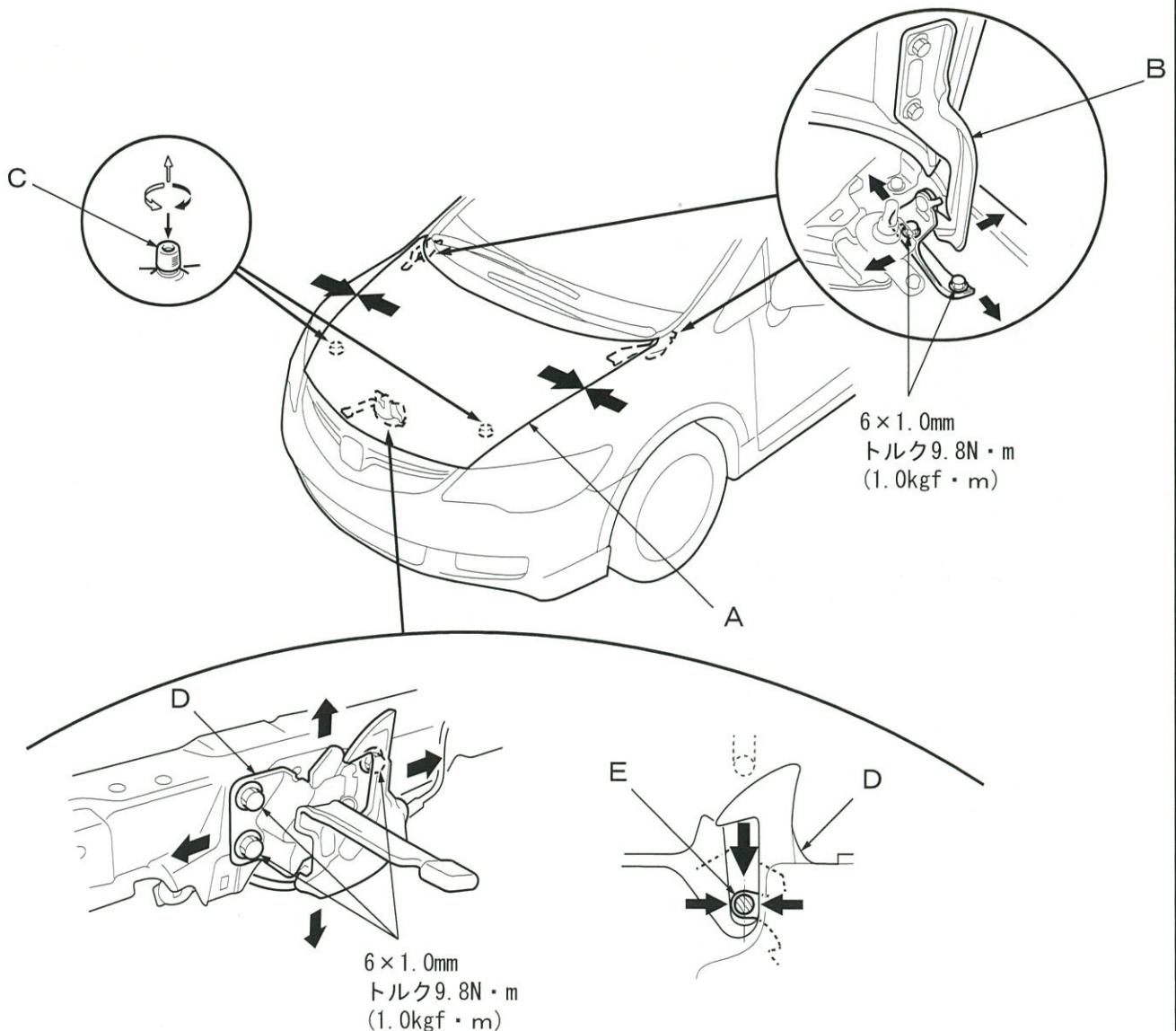
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・手袋を着用して作業すること。

①フロント フェンダ ガーニッシュ、フロント グリル カバー、カウル トップを外す。  
(サービスマニュアル参照)

②ボルトをゆるめ、各部品が動かない程度に締付ける。

③ボンネット A の位置および閉まり具合を調整する。

- ・ボンネットヒンジ B の前後、左右方向調整により、ボディとのすき間を調整する。  
左右方向調整の際は、ボンネット ロック も同時に調整すること。
- ・ボンネット クッション C を回転することにより、ボンネット前後部上下方向の調整を行う。



④ボンネット ロック D の上下方向調整により、ボンネットの閉まり具合の調整を行う。  
またボンネット ロックの左右方向調整により、ストライカ E の干渉がなく中心で  
ロックされるように調整すること。

⑤各ボルトを本締めする。